

平成22年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年5月10日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

上場取引所 大

(氏名) 田村 隆盛
 (氏名) 河原 克樹
 配当支払開始予定日

TEL 0836-32-5161
 平成22年6月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	785	△21.9	34	20.6	32	29.4	14	44.5
21年9月期第2四半期	1,004	2.2	28	105.5	24	151.7	10	130.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	637.71	633.91
21年9月期第2四半期	410.78	408.01

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
22年9月期第2四半期	1,697		897	52.9			38,759.45	
21年9月期	1,754		900	51.3			38,871.73	

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 897百万円 21年9月期 900百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	250.00	—	750.00	1,000.00
22年9月期	—	250.00	—	750.00	1,000.00
22年9月期(予想)	—	—	—	750.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,810	△1.5	65	108.7	53	119.8	26	370.7	1,122.67

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	24,985株	21年9月期	24,985株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	1,826株	21年9月期	1,826株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第2四半期	23,159株	21年9月期第2四半期	24,884株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出が増加し企業の生産活動も持ち直しつつあるものの、雇用や所得環境は依然厳しく、海外景気の下振れ懸念及びデフレーションの影響など、厳しい状況で推移いたしました。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、所得水準や雇用環境の改善傾向がみられず、生活防衛姿勢の高まりから個人消費が依然として低迷しております。そのような環境の中、低価格化の企業間競争は激しさを増しており、店舗計画の見直しや新規設備投資の抑制など厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、ASPサービス事業におきましては、店舗計画の見直しによる月額サービス料の収入減少が新規受注による収入の増加を上回る結果となり、また、システム機器事業におきましては、前期より期ズレしていた受注の獲得等はありませんでしたが、設置計画の長期化等により、当初の計画を下回ることとなりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は785,123千円（前年同期比21.9%減）となりました。利益面に関しては、ASPサービス事業の月額サービス料が店舗計画の見直しにより480,763千円（前年同期比6.2%減）と減少し、システム機器事業においても計画を下回りましたが、販管費及び一般管理費等の諸経費削減等を行った結果、営業利益34,136千円（前年同期比20.6%増）、経常利益32,076千円（前年同期比29.4%増）、四半期純利益14,768千円（前年同期比44.5%増）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、店舗計画の見直しによる月額サービス料の収入減少が新規受注による収入の増加を上回る結果となりました。その結果、売上高は593,037千円（前年同期比7.4%減）となりました。月額サービス料につきましては、6ヶ月累計で480,763千円（前年同期比6.2%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、前期より期ズレしていた受注の獲得等はありませんでしたが、設置計画の長期化等により当初の計画を下回りました。その結果、売上高は85,907千円（前年同期比54.7%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は106,178千円（前年同期比39.3%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,697,119千円となり、前事業年度に比べ57,047千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では現金及び預金138,975千円及び受取手形及び売掛金34,527千円の減少がありました。固定資産においては、工具器具及び備品が35,996千円増加いたしました。また、流動負債では支払手形及び買掛金59,293千円の減少がありました。純資産につきましては、897,630千円となり、2,600千円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローによって使用した資金により前事業年度末に比べ163,175千円減少し、当第2四半期累計期間末には424,154千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は29,885千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益30,305千円の計上、減価償却費29,855千円の計上があった一方で、貸倒引当金25,391千円の減少及び仕入債務59,293千円の支払による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の使用した資金は107,854千円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得により使用したことによる資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は25,435千円となりました。これは主に、配当金による支出が17,626千円あったことによる資金の減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社主要顧客である外食産業を取り巻く環境は、消費者の生活防衛姿勢の強まり等、厳しい環境が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成22年4月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	451,854	590,829
受取手形及び売掛金	200,002	234,529
商品	532,966	523,862
その他	37,726	38,130
貸倒引当金	△4,380	△5,136
流動資産合計	1,218,168	1,382,216
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,166	12,022
工具、器具及び備品（純額）	95,779	59,782
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	62,000	64,000
有形固定資産合計	189,374	156,234
無形固定資産		
ソフトウェア	42,673	398
ソフトウェア仮勘定	30,000	51,166
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	75,118	54,009
投資その他の資産		
出資金	132	112
長期前払費用	3,312	905
繰延税金資産	23,962	36,580
長期未収入金	195,982	—
その他	18,475	183,961
貸倒引当金	△35,217	△59,853
投資その他の資産合計	206,647	161,706
固定資産合計	471,141	371,950
繰延資産		
社債発行費	7,808	—
繰延資産合計	7,808	—
資産合計	1,697,119	1,754,167

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,029	98,322
短期借入金	329,000	629,000
1年内償還予定の社債	40,000	—
未払法人税等	4,870	6,350
引当金	13,630	13,921
その他	104,745	98,780
流動負債合計	531,275	846,374
固定負債		
社債	160,000	—
長期借入金	100,000	—
引当金	8,213	7,562
固定負債合計	268,213	7,562
負債合計	799,488	853,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,904	534,904
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	351,241	353,842
自己株式	△132,115	△132,115
株主資本合計	897,630	900,230
純資産合計	897,630	900,230
負債純資産合計	1,697,119	1,754,167

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	1,004,981	785,123
売上原価	602,834	451,546
売上総利益	402,147	333,577
販売費及び一般管理費	373,835	299,440
営業利益	28,311	34,136
営業外収益		
受取利息	180	74
雑収入	557	2,111
営業外収益合計	738	2,186
営業外費用		
支払利息	4,267	4,246
その他	1	—
営業外費用合計	4,268	4,246
経常利益	24,781	32,076
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	441
特別利益合計	—	441
特別損失		
たな卸資産評価損	2,123	—
貸倒引当金繰入額	—	2,212
特別損失合計	2,123	2,212
税引前四半期純利益	22,657	30,305
法人税、住民税及び事業税	2,294	3,149
法人税等調整額	10,140	12,386
法人税等合計	12,435	15,536
四半期純利益	10,221	14,768

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	22,657	30,305
減価償却費	25,373	29,855
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,667	△25,391
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△263	△291
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,554	651
受取利息及び受取配当金	△180	△74
支払利息	4,267	4,246
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,270	4,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,013	△11,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,113	△59,293
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△888	722
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	19,736	5,936
その他	△3,063	△669
小計	△16,511	△20,248
利息及び配当金の受取額	180	74
利息の支払額	△4,521	△6,000
法人税等の支払額	△809	△3,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,661	△29,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,343	△52,396
無形固定資産の取得による支出	—	△30,000
定期預金の預入による支出	—	△24,200
その他	3	△1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,340	△107,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	840,000	1,098,000
短期借入金の返済による支出	△840,000	△1,398,000
長期借入れによる収入	—	100,000
社債の発行による収入	—	192,191
株式の発行による収入	116	—
自己株式の取得による支出	△11,358	—
配当金の支払額	△22,043	△17,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,286	△25,435
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75,287	△163,175
現金及び現金同等物の期首残高	570,654	587,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	495,366	424,154

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。